

興東公民館だより

発行

(公財) 奈良市生涯学習財団 興東公民館

奈良市大柳生町 3633 (TEL・FAX) 93-0400

発行責任者: 杉田 知己



年頭にあたり



大柳生地区自治連合会

会長 坂本 佳弘



平成二十九年の新しい年を迎え、明けましておめでとうございます。昨年も七月末に岩手県や北海道などで集中豪雨が発生し、大きな被害が出ましたが、本年は平穏な年であつてほしいと願うばかりです。

興東公民館の館長、職員の皆さんが子どもから高齢者までを対象にした色々な事業を実施していただきありがとうございました。

地域の多くの人が参加し、楽しい思いをされたことと思います。公民館だよりからそのことがよく分かります。私も昨年十一月に実施された公民館事業「郷土を知る講座」忍辱山・滝坂道歴史散策の講師をさせていただきましたが、途中の石仏などを見学しながら、奈良破石までの八キロを久しぶりに、一五名の参加者と楽しく歩くことができました。今後とも地域の人たちが参加してよかつたと思える事業を企画して下さいようお願いいたします。

東里地区自治連合会

会長 東浦 和男



新年明けましておめでとうございます。

興東地域の皆様には、輝かしい新年をお迎えることと心よりお喜びを申し上げます。

私は、昨年四月から、西窪前会長の後任をお引き受け致しました。

どうかよろしく願います。

日頃、興東地域住民の皆様には、公民館活動を通じて、『地域の絆づくり』にご協力ありがとうございます。昨年四月に発生した熊本

地震では、改めて『地域住民の絆』の重要性が浮き彫りになったと実感致しました。

興東地域は比較的市街地からも近く、自然豊かな地域ではありますが、全国の農山間地域共通の課題である少子高齢化が急速に進み激化する渦中にあります。地域の活性化のためには、『何をすべきか。何をすることが有効なことなのか』を三地区の会長が心をひとつにして将来の興東地域のあるべき姿を模索し、『地域の絆づくり』に努めて参りたいと考えております。ご協力よろしくお願致します。

狭川地区自治連合会

会長 奥西 正博



新年明けましておめでとうございます。

旧年中は自治会活動はじめ地区の様々な活動に皆様方のご理解ご協力を賜りありがとうございました。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、狭川地区の人口推移を見ますと平成十八年十月の人口は全体で五七九名でしたが平成二十八年十月は四四四名となっています。十年間で一三五名、率にして二二・三％の減少です。

このうち〇歳から十四歳の年少人口は三三名から二六名に七名(二一・二％)の減少です。一方、六十五歳以上の高齢者は一八六名から二〇三名に十七名(九・一％)増えています。これを見れば少子高齢化が徐々に進んでいるといえます。それ以上に十五歳から六十四歳までのいわゆる生産年齢人口の推移をみると、十年間で三六〇人から二一五人に四五人に減少しています。率にすると実に四〇・三％もの減少です。全体に占める割合も六二・二％から四八・四％に低下し、地域社会の担い手がこの十年間で大きく減少したことがわかります。

狭川地区だけでなく、東部各地区に共通する現象だと思えます。五年後十年後を考えた時、取り組んでいかなければならない課題がたくさんあります。皆様の一層のご支援ご協力をお願い申しあげます。

あけまして おめでとう
ございます
職員一同





狭川地区民生児童委員協議会

会長 奥城 久壽

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
地域の皆様には、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

興東公民館におかれましては、地域住民の交流の場として広く取り組んでいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、昨年十二月に、三年に一度の民生児童委員の一斉改選により勇退されました当協議会、芝征夫会長の後任を拝命いたしました。微力ではありますが、前任者が培われてきた永年の経験と地域に根ざした信頼関係を汚すことなく継承し一生懸命努めてまいりたい所存であります。

新任期がスタートして迎えた本年は、民生委員制度創設一〇〇周年の大きな節目にあたり責務の重さに痛感しています。

新たな一年を迎えるにあたり、安心・安全なまちづくりをめざし自治会、各種団体、関係機関と連携を密にしながら、委員一同は、地域福祉のボランティアとして、身近な相談相手となり、そしてその課題が解決できるよう行政や関係機関への「つなぎ役」となるため、地域の見守り・訪問活動などさらなる取り組みを進めてまいりたいと考えています。結びに、興東公民館活動のさらなる発展をご祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。



大柳生地区民生児童委員協議会

会長 山森 重一

新年明けましておめでとうございます。

大柳生地区は少子高齢化が急激に進み限界集落も直前の様相です。大柳生地区自治連合会、社会福祉協議会、民生児童委員が協働して平成二十七年四月よりスタートいたしましたすこやかサポート事業は、一人暮らし・高齢者夫婦世帯・家族でドライバーがいない家庭について、奈良市内の医療機関及び天理病院、高井病院への送迎する移送サービスを提供しています。この事業が必要だとやってみようという熱い思いがあり初年度一〇一名二十八年度は十二月で四七名の方を迎えることが出来ました。自治会、社協民生委員がいくらか協働しても地域の皆様方に幸せと健康を与えることは難しいけれど、守る手助けはできると確信しております。現在は施設もなく車もありません、すべて隊員の提供により活動しておりますがサポート事業の生みの親・育ての親である田島俊秀前大柳生地区自治連合会長と深い理解をもつサポート隊員と共に、心と力を合わせてしっかりと取り組んでまいりたいと思います。本年も一層のご支援ご協力をお願い申し上げます新年のご挨拶といたします。



東里地区民生児童委員協議会

会長 東 功

新年あけましておめでとうございます。
興東地区の皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、私は昨年十二月に東里地区民生児童委員協議会の会長に就任させていただきました。退任された小林前会長のもと三年間副会長として学ばせていただいた事を糧として、皆様の立場に立つて相談に応じ、社会福祉の増進に務めたいと存じます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

近年、児童虐待や孤独死、高齢者や障がいのある人で支援を必用としている一人暮らし世帯等が増加しております。

支援を必要としている皆様の課題に取り組む、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる社会の実現へ地域の皆様をはじめ関係団体の皆様や関係機関と共に推し進めてまいりたいと存じます。

地域の皆様には、今後ともご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げますと共に、ご健勝ご多幸を心よりお祈り申し上げます新年のごあいさつとさせていただきます。



こんな講座ありました

《なかよしクラブ》12月20日

クリスマス会と雪遊び

なかよしクラブ親子と民生委員の皆様とサンタさんを囲んでハイチーズ！

《チャレンジクラブ》12月3日

クリスマスリースづくり

FA ならの皆様にも木の実飾りのリースを教えてもらいました